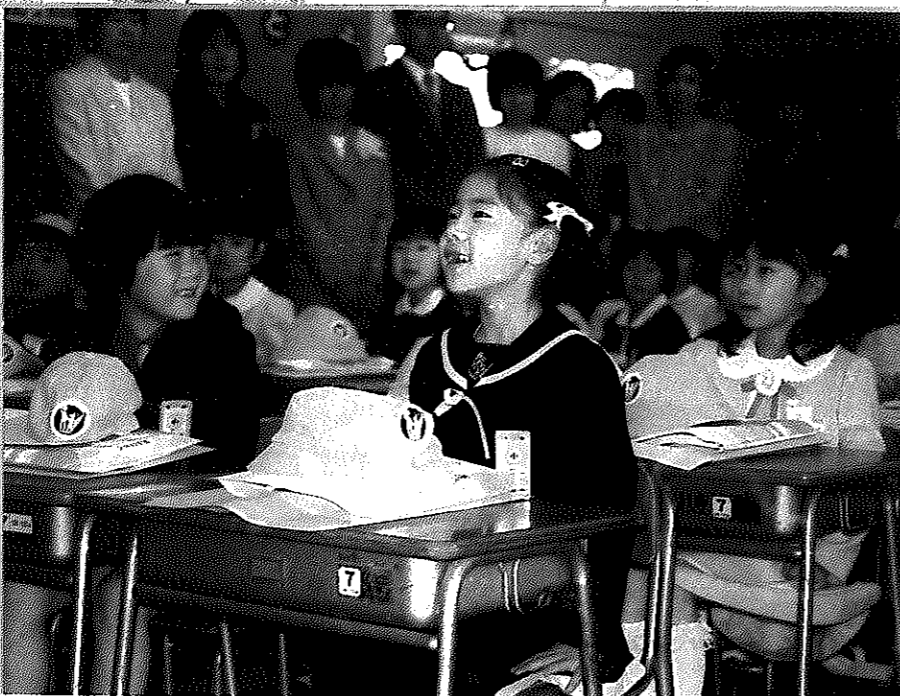


大風を世界に向けてPR

特集 市町村合併を考える④

広報 しろね

5. 1
2002 No.614



CONTENTS (もくじ)

- 市町村合併を考える④ 2~4
 - 市政クリップ、まちの話題
 - おしゃべりさん 5
 - お知らせ 6~9
 - みんなのページ 10
 - ズームアップ 12
- 表紙 大通小学校入学式 (4月8日)

4月10日 大風合戦の日程について会議を行う白根風合戦協合理事会 (写真右側が佐藤さん)



佐藤 弘さん

二〇〇二年六月に新潟市などで開催されるワールドカップ。世界中が注目するこの六月に向け「絶好のPRの時」と、新しく白根風合戦協会会長に就任した佐藤弘さん(五十七歳・中央通四)は意気込んでいます。

五月下旬には新潟市内で現在建設中のビルの壁面に、昨年の大風合戦で揚げた五十畳の風を展示。そのほか、新潟スタジアムや新潟市古町で白根の大風を世界へPRしていく予定です。

六月六日から十日まで行われる白根大風合戦に加え、ワールドカップに合わせたPR活動の会議や準備で、「引っ張りだこ」の佐藤さん。就任後、目の前にある大きな仕事に「大変だなあ。考える余裕もないが、とにかくやってみよう」と話します。

そのような状況の中、四月には中国のウエハン市で開催された国際風揚げ大会に参加し、白根の大風をアピール。その活動範囲は海外まで及びます。

大風合戦開催に向けては、「観客や引き手を含め、すべての安全を確保するのが第一。その上で皆さんに大風合戦を楽しんでもらいたい」と話す佐藤さん。二つの大きなイベントの成功に向けて精力的に活動する日々です。

※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。

▶数字で見る市勢 ※4月1日現在 ※()内は前月比

人口	40,707人 (-71人)
男	19,954人 (-40人)
女	20,753人 (-31人)
世帯	11,284人 (+ 3戸)
出生	29人 死亡 28人
3月中の転入	147人 転出 219人

◎春を楽しませてくれた桜や桃の花も終わり、田植えの季節となりました。そして田植えが終わると白根は風でにぎわう町になります。私は、だんだんと活気あふれてくる「春の白根」が大好きです。◎4年間担当してきた広報を、このたび異動することになりました。取材先での皆さんの笑顔、本当にありがとうございました。今後も「広報しろね」をよろしく願います。(ま)

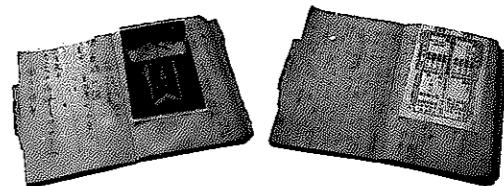
「鯛町、上組にばかり、時まさに二時四十五分」「引けども引けども切れず、西軍ポンプを持ち出して、糸に水をかけるかける」「一時間余にして切れず、休戦ラッパを吹く。人力尽きて休むともなしに引く。引いては又休む」「七時に至るも切れず引き分け」(風ノートより) 昭和七年六月十一日、四時間に及ぶ壮絶な引き合いの記録。書き手の興奮が伝わってきます。

林栄蔵は白根四の町の小間物屋「マツヤ」の主人。風へのめり込んでいました。明治四十五年から昭和十八年まで、風合戦すべての勝敗を克明に記した「風ノート」を残しています。

レレヒ中佐が寄贈した優勝旗の写真や大風の番付、新聞記事なども収められています。風合戦史を調べるのに、随分助けてもらいました。

白根の大風合戦のお宝です。

昭和六年五月 白根の市街地百戸を焼き尽くす大火で「マツヤ」も災難に遭いました。なぜか「風ノート」だけは残りました。



風ノート(白根)

あなたも風博士

文・田村和雄

(しろね大風と歴史の館運営委員会委員長)